



【学校教育目標】「人間性豊かな心を持ち 実践力のある生徒の育成」
— 気付き、生かす —

若松中だより

千葉市立若松中学校
校報
第 37 号
令和 2年11月20日

1 年校外学習を終えて②

なかなかやります 1 年生！

校長 古市 直彦

今回の校外学習のスローガンは、「凡事徹底 ～楽しむ・成長～」でした。ただ楽しむだけでなく、その中で成長していきたいという意気込みを掲げていた1年生の意気込み通り、すばらしい校外学習になりました。

午前中は、班ごとにバター作りやジャム作り、バター作りのいずれかを選択して体験しました。

昼食はジンギスカンでした。1テーブルの使用人数を減らしましたが、どうしても対面式になってしまうことから、別メニューも選択できるようにしました。でも、全家庭がジンギスカンを選んでいただきました。中学校に入学して初めて対面式とする食事でした。時折、大きな声での会話もありましたが、美味しそうに、そして楽しそうに会食している姿を見た時には、「静かに（黙って）食べよう」とは注意・指導することができませんでした。申し訳ありません。

午後の班別学習も、事前に立てておいた計画に基づいて行動することができました。係員の方にお仕事について等を聞き取り調査する班もありました。あいにく、今年一番ともいえる寒空の下でしたが、「Go To トラベルキャンペーン」の一環としていただいた「地域共通クーポン」を使ってマザー牧場特産のソフトクリームを食べている姿は、本当に嬉しそうで、微笑ましかったです。



寒かったけど、屋外での活動は「気持ちいい～」



羊毛で羊人形作り体験作り体験 「フワフワ～」



バター作り体験 「もっと振って振ってえ～」



ブルーベリーのジャム作り体験 「甘そう～」



昼食はジンギスカンをかこんで「美味しい～」



班別学習での乳しぼり体験 「あったか〜い」



班別学習でお仕事についての聞き取り調査 「ヘエ〜」

計画立案時の見通しが甘かったり、計画と時間を意識した行動ができなかったりした班も、若干ありましたが、この課題は、きっと次の機会に克服してくれることでしょう。

1年生、なかなかやります。今後の活動ぶりが楽しみになりました。

主な行事の様子です

3年進路面談 (11月16日~20日)

中学校卒業後の進路決定に向けて、三者面談を進めています。進学するのか、就職するのか…。公立高校を受検するのか、私立高校を受験するのか…。入試制度の活用のしかたはどうするのか…。できるだけ納得のいく進路選択ができるよう、3学年職員はもちろん、学校全体として支援していきたいと思っています。



ディスタンスを確保しての進路面談

1・2年定期テスト前学習講座 (11月17日)

今回の定期テストから、新たな取り組みとしてテスト前の学習講座を始めました。

テスト範囲の重要ポイントや難しいポイントについて、説明を聞いたり、練習問題を解いたりすることができる時間を2時間設けました。同じ教科で内容を分けた複数の講座を設けたり、チームティーチングで教えたりする講座を設けたりする工夫もしました。少しでも、学習意欲の向上や、学習内容の定着にプラスになればと考えています。講座後の生徒の感想をいくつか紹介します。

- 最低限やらなければならぬところがわかって良かったです。復習をしっかりとやりたいです。
- プリントなどを使ってくれていて、とてもわかりやすかったです。苦手な所を見直すことができましたので、次のテストも頑張りたいです。
- 2教科しか受けられなかったけど、もう少し受けたい教科がありました。

課題もありますが、今後も、いろいろ取組を工夫していきたいと思っています。



チームティーチングでの講座



講座の中では、教え合い活動も…